

会 議 報 告 書

会議名	第1回（仮称）第2次21世紀矢板市総合計画 策定検討委員会
日 時	平成21年10月14日（水）午後7時00分～8時30分
場 所	市役所 3階 第一委員会室
出席者	市 遠藤市長、只木秘書政策室長、鈴木政策班長 政策班 赤羽主幹、和田副主幹、杉山 策定委員11名

1 開 会(政策班 和田副主幹)

開会及び資料の確認

2 委嘱状交付

策定委員の代表に市長より委嘱状を交付

3 あいさつ(市長)

4 委員紹介

委員の自己紹介

只木室長より市の職員の紹介

5 協議事項(説明:鈴木班長)

○(仮称)第2次21世紀矢板市総合計画策定検討委員会正副会長の選任について

鈴木班長より説明

会長、副会長を決定

会長あいさつ

6 検討事項

○総合計画の策定について

○現計画(21世紀矢板市総合計画改定後期計画)の概要について

○今後の作業予定について

鈴木班長より一括にて説明

(委員)

基本構想のステップは一般的なこのような流れになるのかなと思うが、今説明いただいた現計画、会社で言うところの事業計画であるが、一般的には、現在のものの総括や見直しがあって、当前計画とは、繋がっていくものであるものですから、まったく違うものになるとは思えない。本来ならば、2010年に行うものであると思うが、暫定的な総括・反省や良かった点、等を1stステップの現状分析において行えないのか。

(班長)

政策評価を今後庁内で行っていく。それを踏まえ検討し、次につなげていきたい。

(委員)

そうするとその政策評価は、この会議にも示されるのか。

(班長)



資料として、この会議にも出していきたい。

(委員)

平成22年3月に素案をつくるというように示されているが、どのようなイメージを思っているのか。とりあえずのゴールがそこであると思いますが、どのレベルを期待されているのか。

(班長)

基本構想の素案の意見書の取りまとめをしていただきたい。この後、懇談会ができるが、そこでも審議を行っていく。それに向けての前段の意見をまとめていただくイメージである。

(委員)

基本構想の目次をつくるのが目的ではなくて、基本構想をつくる上での意見なり提言なりを行うのがこの組織の役割であるのか。

(班長)

そのイメージでよい。

(委員)

そうすると今度作るものは、今の計画のマイナーチェンジであるのか。

(班長)

年度的には、全面改定を行っていきたい。

(室長)

今の計画が H13～H22 である。途中で、改定を行っている。今度は、全面改定の年度であるが、行政の継続性もあるので、現在の計画を踏まえた上で、改定していきたい。

(委員)

政権も変わったので、特に私の関わっている農業分野も変わる。国の上部機関の動きをどのように対応するのか

(室長)

一番重要な問題である。地方分権のあり方も、党によって違う。今は、情報を取り入れながら検討していかなくてはいけない。

(委員)

それ以外に、この計画の下には、各種の計画が動いている。個別の政策は、それぞれの計画で動いているので、大まかな基本計画は動かないとの認識でよいのでは。

(室長)

そのとおりである。一番は、矢板市をどのようにしていくのか。今は 36000 の政策である。なんにもしないと 36000 より減っていくものである。これをいかに土地利用等を考え、明るいものを入れながら、矢板市の将来の計画を策定していく。上位計画との整合性を考えながら作っていくと思う。

(委員)

全てのことに對して全体的に矢板市のビジョンとしてどの部分を重視していくのか。観光に特化するのか。そのような新しいものをここで見出すのか。それとも今までの考えを踏襲していくのか。そのあたりはどうか。一からやり直すのか。

(室長)

事務局での宿題を用意してある。矢板市の良いところ、悪いところ、将来等。今矢板市に住んでいて思うところを自由に討論していただき、それらをまとめて基本構想に入れていきたい。

(委員)

計画のP41の地図であるが、目標のゾーニングが示されているが、これから意見を色々と出し合って作っていくのであろうが、この地図をどの段階で考えていくのか。

(室長)

ここにあるのが、都市マスタープランであるが、概ね矢板市の20年後を見越してつくっているものである。現在はこれにしたがって進んでいる。

(和田副主幹)

具体的な土地利用のソフトの部分とハードの部分をすべて含んでいるものなので、わかりづらいところもあるかと思う。これについては、都市マスタープランの概要図である。この図が肝になってくる部分であるので、どの時点で扱っていくのかは。今時点では確定はしていないが、皆様のご意見を入れながら考えていきたい。また人口フレームをどのように設定するかで、この市街地等の大きさも変わってくるので、概ね最後のところで扱うことになると思う。

(委員)

議員は、どのように関わっていくのか。ただ議会で承認するものでよいのか。

(室長)

まちづくり基本条例の策定については、3名の議員の方にも入っていただいている。この計画については、庁内の職員との役割との調整で作っていくが、ある程度まとまってきたら、議員全員の方皆様に意見をお伺いして作ってきたい。5ページのスケジュールに詳細を掲載してある。

(副会長)

この現計画を、見直す具体的な時期はいつになるのか。100点だったら、見直す必要はない。

(和田副主幹)

政策評価については、基本計画の6分野、39政策、108施策について行ってきたい。時期については、今年度中に暫定での評価を行って。まとまり次第、皆さまにお示ししていく。

(委員)

アンケート調査のまとめを示してもらえるタイミングはいつなのか。進捗を聞きたい。

(和田副主幹)

8月末に18歳以上の市民の1割3000件を発送した。今現在で50%の改修率である。まとまり次第お示ししてきたい。

(委員)

かなり我々に任せていただける部分が多いとのことで、緊張してきたが、月一回ではなく、特に年明けてから、分科会等を設けて委員の得意分野を反映できるようにしていきたい。

いが、いかがか。

(和田副主幹)

皆様お忙しい中であるので、月1回程度の開催で考えている。参加できない場合でも文書での参加等ができるようにしていきたい。分科会の開催、回数の増加等については、今後進み具合により検討していきたい。

(委員)

今の計画を見て、足りない部分を考え、それを今度の計画に生かしていくような、フィードバックしていくやり方は、できないのか。

(和田副主幹)

そのやり方も、今後取り入れていきたい。



今後の進め方

(班長)

次回の会議のテーマを決め、それに向け考えていくような会としていきたい。

また、平日の夜の開催で考えているがいかがか。

(会長)

回数はいかがか。

(委員)

この会議は何名の出席で成立するのか。

(班長)

議決ではないので、参加人数は関係ない。土日であるとまた、ご予約もあると思うので、平日の夜ではどうかと考えている。また回数については、進捗状況について日程を増やすことも検討していきたい。

(会長)

月一回で検討し、進み具合で増やすとのことよろしいか。

(委員)

了承

(委員)

平日の夜の開催で7時からなら、参加しやすい。前もってわかればなお調整がつく。第何週の何曜日等で決めてはいかがか。土日は流動的である。

(班長)

次回は、11月12日ではいかがか。また毎月の日程を決めるのも良いが、毎回、次の会議を決めていくようにしていければ、調整していただけるのではないか。

(会長)

次回の予定を集まった時に決まるという方式でよいか。

(委員)

了承

(班長)

12月も決めたい。16日はいかがか。

(委員)

了承

(委員)

欠席の場合の連絡はどのようにすればよいのか。

(和田副主幹)

追って連絡先をお知らせする。

(班長)

次回の宿題であるが、配ったシートを次回の会議までに提出してほしい。

7 その他

なし

(市長)

終りの挨拶。

8 閉会 20:30